

# 重度障がい者の在宅介護のあり方に関する実態調査

# 重度障がい者の在宅介護のあり方に関する実態調査

## 背景(課題)

- 長時間介護の提供は、多大な財政負担が伴うものであるため、持続可能な制度とするためにも、特に長時間介護を希望する方々の状況を把握し、真に必要な介護時間数を決定する仕組みを検討する必要がある
- そのためには、長時間介護の支給に関する個別的な要望があった方だけでなく、全体的な状況の把握や在宅介護のニーズ分析が必要
- 重度訪問介護の個別的な支給決定のあり方を検討するにあたり、仮に非定型を導入する場合の事業規模を積算するためにも、更なる長時間介護を希望する方の人数や理由等を把握することが必要

## 実態調査の主目的

### 【利用者実態調査】

- 重度訪問介護の個別的な支給決定のあり方を検討するための参考(基礎資料)とするため、現在の支給時間以上の介護時間数を希望する方の状況を把握する

### 【事業所実態調査】

- 札幌市内の障害福祉サービス事業所の重度障がい者への支援実態を把握する

# 重度障がい者の在宅介護のあり方に関する実態調査

## 調査概要(案)

区分	利用者調査	事業所調査
調査対象	・重度訪問介護の支給決定者(約440人)	・重度訪問介護事業所(約500箇所) ・生活介護事業所(約140箇所) ・短期入所事業所(約90箇所)
調査骨子	・重度訪問介護の利用実態 ・希望時間数と支給時間数の乖離実態と理由 ・より多くの介護時間数を希望する理由 ・特に長時間介護が必要な方の状態像 など	・重度障がい者に対する支援の現状 ・重度障がい者のサービス提供可否 ・サービス提供が困難な場合はその理由 ・重度障がい者の受入のために必要なこと など
調査方法	・郵送による配布・回収(返信用封筒)	・電子メールによる配布・回収
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8月 調査対象、調査項目・内容等の検討</li> <li>○ 9月 調査票の作成</li> <li>○ 10月～11月 調査票の発送・回収</li> <li>○ 12月 調査結果の集計・分析</li> <li>○ 1月 調査結果の報告</li> </ul>	